

2020年12月7日

Information News 第143号

いつも大変お世話になっております。ハウス食品分析テクノサービスでございます。

2020年11月30日～2020年12月4日の期間に発表された、食品に関連する話題を各省庁Webサイトより抜粋し、お届け致します。

バックナンバーは、弊社ホームページにも掲載しております。

<https://food-analab.jp/news/index.html>

★★分析テクノからのお知らせ★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

弊社の年末年始休業期間は、12/30（水）～1/4（月）とさせていただきます。誠に勝手ではございますが、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

なお、年末年始に関わる期間の試験品受け取り、保管、試験結果報告予定日につきましては、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

千葉本社 043-237-5676
大阪オフィス 06-6781-6210
関西事業所 0743-59-0775

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

<厚生労働省>

・薬生食輸発1201第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（韓国産養殖ひらめの登録リストの変更）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000700139.pdf>

・薬生食輸発1204第1号「食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について」（フィリピン産バナナの検査命令免除対象企業の変更）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000701819.pdf>

・薬生食輸発1201第2号「令和2年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（ベトナム産PUK WHAN（アマメシバ）のペルメトリン、インド産養殖えび（ブラックタイガー（ウシエビ）に限る。）のフラゾリドン及び中国産ほうれんそうのジフルベンズロン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000700145.pdf>

⇒ベトナム産アマメシバの農薬ペルメトリンに対して、モニタリング頻度が30%に引き上げられています。一方、インド産養殖えび（ブラックタイガー）の動物用医薬品フラゾリドン及び中国産ほうれんそうの農薬ジフルベンズロンに対してはモニタリング頻度が緩和されています。

・薬生食輸発1203第3号「令和2年度輸入食品等モニタリング計画」の実施について（メキシコ産いちごのフェナザキン及び中国産えだまめのジフルベンズロン）

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000701312.pdf>

⇒メキシコ産いちごのフェナザキンに対して、モニタリング頻度が30%に引き上げられています。一方、中国産えだまめのジフルベンズロンに対してはモニタリング頻度が緩和されています。

・薬生食輸発1204第1号「特定の製造者が製造するブラジル産食品の取扱いについて」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000701928.pdf>

⇒ブラジル産ゼリーの素からサイクラミン酸が検出され、食品衛生法違反として取り扱われた事例が発生しています。

・生食発1204第2号「食品衛生法施行規則の一部を改正する省令及び食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000702027.pdf>

⇒L-酒石酸カリウム及びメタ酒石酸が食品添加物に指定され、規格基準が設定されました。

・生食発1204第6号「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令及び食品、添加物等の規格基準の一部改正について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000702031.pdf>

<農林水産省>

・ベルギーからの家きん肉等の一時輸入停止措置について

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201130.html>

・野菜の生育状況及び価格見通し（令和2年12月）について

<https://www.maff.go.jp/j/press/seisan/engei/201201.html>

⇒指定野菜14種（消費量が多く、国民生活にとって重要な野菜として野菜生産出荷安定法で定められた野菜：ダイコン、ニンジン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、ネギ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、ジャガイモ、サトイモ、タマネギ）のうち、**ダイコン、ハクサイ、キャベツ、レタス、キュウリの価格が安めで推移する見込みです。**報道でもあるように、12月は天候が順調であったため、例年と比べて野菜の生育が良好で安値となっています。企業をはじめご家庭でも野菜をたっぷり使うことが望まれます。

<消費者庁HP掲載の回収情報>

品質不良関連	3件	(酸臭1, 密閉不良1, 不明1)
アレルギー関連	3件	
消費/賞味期限関連	2件	
包材関連	1件	(ピンホール)
農薬/動物用医薬関連	1件	(生姜粉末と桑の葉茶粉末のプロペントホス)
添加物関連	1件	(黄色5号記載漏れ)
入数不足	1件	
	計12件	(先週比-2件)

⇒加工場内で防虫駆除に使用した**農薬プロペントホス（殺虫剤成分）**が乾燥機に残留していたことにより、**生姜粉末と桑の葉茶粉末が残留基準を超過し自主回収となっています。**

★★弊社HPの分析項目アクセスランキング★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

	1位	2位	3位	4位	5位
11/29-	残農/動薬	栄養/機能	アレルギー	異物	官能/物性
11/22-	残農/動薬	異物	栄養/機能	DNA	官能/物性
11/15-	残農/動薬	異物	栄養/機能	DNA	アレルギー

↓**栄養成分/機能性成分のページはこちら↓**

<https://food-analab.jp/service/pesticide.html>

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

※本メールは、過去に弊社にご依頼を頂いたり、お名刺交換をさせていただいたお客様に配信しております。本メールがご不要のお客様は、ご一報いただけましたら、次回より配信を停止致します。

※万一、お客様のご所属・ご氏名に誤りがございましたらご一報下さい。速やかに修正致します。

株式会社ハウス食品分析テクノサービス
インフォメーションニュース係
Mail: info2@food-analab.co.jp

〒284-0033千葉県四街道市鷹の台1丁目4番
[TEL:043-237-5676](tel:043-237-5676) FAX:043-237-2912
[URL:https://food-analab.jp/](https://food-analab.jp/)
